

京都労山

2025年1月号

No. 379

発行日

2024年12月16日

発行所: 京都府勤労者山岳連盟 発行者: 中村好夫 編集製作: 機関誌委員会 発行: 毎月第3月曜日

所在地: ☎.616-8042 京都市右京区花園伊町4 ☎.075-275-0453 FAX.075-468-1793

【ホームページアドレス】 <http://www.dab.hi-ho.ne.jp/kyoto-rozan>



京都府勤労者山岳連盟

京都労山『六つの合い言葉』

- (一) 私達は、山を勤労者の身近なものにする為に力を合わせよう。
- (二) 私達は、登山によって健康な身体と豊かな心を育てよう。
- (三) 私達は、登山によって助け合う心と友情を深めよう。
- (四) 私達は、多くの人達と交流し山を愛する仲間を増やそう。
- (五) 私達は、力を合わせ正しい山のモラルと高い技術を生み出そう。
- (六) 私達は、安全で確実な登山思想を身につけよう。

1月号目次

- * 六つの合い言葉・目次
- * ステップアップ 連盟会長 中村好夫・・・・・・・・・・01
- * 事務局長会議報告・・・・・・・・・・02
- * 全国登山者自然保護集会 IN 徳島報告・・・・・・・・・・03
- * 京都労山交流会の報告・・・・・・・・・・06
- * 交流会・講演会の報告・・・・・・・・・・10
- * 積雪期搬出訓練の案内・・・・・・・・・・11
- * 遭難者捜索救助訓練の報告・・・・・・・・・・12
- * 冬山連絡会の報告・・・・・・・・・・15
- * ヒヤリハットのまとめ・・・・・・・・・・16
- * クライミング委員会山行報告・・・・・・・・・・19
- * 大文字山登山道整備の案内・・・・・・・・・・20
- * 大文字山登山道整備の報告・・・・・・・・・・21
- * 能登半島地震被災者支援活動案内・・・・・・・・・・22
- * 能登半島地震被災者支援活動報告・・・・・・・・・・23
- * 全国海外登山交流集会の報告・・・・・・・・・・26
- * 全国連盟 2024 女性会員アンケートについて・・・・・・・・・・27
- * 連載企画・二百名山登頂シリーズ第 46 回「焼石岳」・・・・・・・・・・28
- * 1月号の案内・・・・・・・・・・29
- * 連盟月間予定表「カレンダー」・・・・・・・・・・裏表紙

ステップアップ

安全登山と登山文化の発展に寄与する労山運動に

京都府勤労者山岳連盟 会長 中村 好夫

あけましておめでとうございます。

2025年は巳年です。

ヘビは、山ではよく出会う生き物です。多くのヘビは人の足跡を聞きつけると姿を隠します。しかし、マムシは悠然ととぐろを巻いて私たちを待ち構えるように、道端に居座っています。東日本大震災後に石巻へ復興支援に行ったとき、宿泊先でお世話になっていた自治会長さんが、山仕事でマムシにかまれました。会長さんは、古くからの言い習わしで、かんだマムシを捕まえ皮をはぎ、剥いだ皮を傷口に張り付けて日赤の救急へ行きました。剥いだ皮を張り付けたおかげで、大過なく回復したそうで、医者がびっくりしたそうです。「昔からの療法は効果抜群のようだ」との話を聞かせてもらいました。田舎では軒先にマムシがぶら下げてあります。とても自治会長さんの真似は私にはできませんが、応急処置の知識として大切にしています。

いま、登山をする皆さん方はどのように変化しているのでしょうか？団塊の世代は70歳代に突入しました。山岳事故が高齢化している背景にこのことがあると推察されます。歳を重ねても安全登山をするためには、仲間と山を楽しむことが大切です。また、フレイル予防に何をしているかのアンケートで、女性は登山・ハイキングの回答がトップです。退職後、フレイル予防にも役立つ登山・ハイキングを思考される皆さんが増加しています。山歩きが初めての方も多いようです。そのようなみなさんの安全に山歩きをはじめ、ステップアップできる要求に応えることも大切です。さらに、ファッションを含め山歩きに挑戦する若者も増えています。

このような状況を踏まえると、安全登山へ様々な努力してきた労山の役割がますます大きなものになっているのではないのでしょうか。登山文化を継承・発展させてきた労山の運動が現在の社会から求められていると思います。

ヘビにまつわることわざはいろいろありますが、「長い物には巻かれる」などヘビのことわざにいいものは少ないようです。しかし、古(いにしえ)からヘビは生命力が強く、神秘的な生き物として畏怖されてきました。ヘビは神の使いとも言われています。巳年にあたり、ヘビの生命力を取り込んで、神頼みでなくしっかりと仲間と安全登山と登山文化の発展に寄与しましょう。

新年にあたり、みなさんの安全登山とますますのご活躍を祈念します。

事務局長会議報告 (各会と連盟の活動報告・意見交換・情報交換を目的に開催)

12月度会議：WEB会議 西山,やましな,乙訓,右京,伏見,明峯,山城,左京,亀岡
9 労山参加、連盟から 2 人参加。洛中報告有り。

各会の活動状況(前月の例会や集いの実施状況・予定等)[各会・クラブ機関誌参照]

- ・[右京]<例会>11/4 権現～蓬莱山 7 人,17 赤坂山～寒風 9 人,23 アイゼントレ白坂 6 人,24 再度山 16 人<予定>12/8 つつじ尾根→水尾鳥鍋,15 終い山行(地藏山→愛宕山)<その他>集い「冬山装備と雪上歩行」大型画面で U チューブ利用 7 名。
- ・[やましな]<例会>11/9～10 公開バスハイク(入笠山)31 人(会員外 6 人),24 養老山 11 人<予定>12/14 納山祭熊川トレイル<その他>ヒヤリハット機関誌に掲載。
- ・[西山]<例会>11/16 目俵インドアクライム 17 人, 11/20 ホンボン山 14 人<予定>11/30～12/1 中級実技③テン泊堂山,8 六甲縦走<その他>11/23 第 39 回総会 97 人
- ・[左京]<例会>11/23 峰床山 6 人<予定>12/14 彦根佐和山,22 比叡山(雲母坂～坂本)<その他>12/1 クリーンハイク江文峠～琴平宮の途中後尾 3 人道を外す。
- ・[乙訓]<例会>11/4 横山岳 7 人,10 高島トレイル 12 人,27 三笠山 13 人<予定>12/7～8 納山祭(龍の小屋),14 播磨アルプス<その他>会としてリーダー育成急務
- ・[伏見]<例会>11/17 公開ハイク「読図」音羽山 16 人,23 伏見遭難対策・搬出訓練 15 人<予定>12/15 アイゼントレ白坂,大文字トレ 4 回 (12/4,11,21,25) <その他>個人情報取扱い文書作成,HP に会の規約等アップ,HP と大文字トレで 3 名入会
- ・[洛中]<例会>11/9～10 交流会 17 人,17 福井(三十三間山と蟻螂山)13 人<予定>12/14～15 納山祭(龍の小屋)、22 終い山行(赤坂山)<その他>60 周年実行委員会立上,来年プレ企画有海外 2 件「エベレスト展望」7 人、「キリマンジャロ」4 人
- ・[明峯]<例会>11/23 阿武山 11 人,30 アイゼントレ白坂 4 人<予定>12/22 終い山行愛宕山 4 つのコースから集中登山、表参道、大杉谷、つつじ尾根、水尾 豚汁作り食べる<その他>50 記念山行尾瀬 7 月 12～16 日 4 泊 5 日。記念のバンダナ。
- ・[山城]<例会>11/10 青年学級公開山行 宝が池→北山 7 名+3 8 名 年 2 回有
- ・[亀岡]<例会>11/3 読図山行修学院から滋賀 13 人,6P 有,らくなん奥西さん講師

連盟の取り組み、活動報告 (連盟の取り組みや活動状況を連盟事務局から報告)

- ・冬山連絡会(遭難対策部)12 月 6 日 19:00～21:00WEB 講師丹後川端。1 部報告会。2 部冬山リスクマネジメント講習。入門者向
- ・2025 労山カレンダー。誤植あり、配布遅れ。12 月上旬を目途に京都労山口座へ振込
- ・12 月 1 7 日(火)19:30 より第 2 回 6 0 周年実行委員会。連盟 1 回事務所。WEB 併用
- ・11 月末組織数調べ。3 労山を除き報告有。全体で増加見込む。クラブ数は 18 に減。
- ・積雪期搬出訓練 2025 年 1 月 2 6 日(日) イン谷。

次回 1 月 7 日(火)の事務局長会議は、PM7:30 より WEB 専用会議とする。

第 22 回全国登山者自然保護集会 in 徳島 報告

第 22 回全国登山者自然保護集会 in 徳島が、11 月 16 日(土)13 時から徳島市の「とくぎんトモニプラザ」を会場にWEB 併用で行われました。12 都府県から 40 名(会場 31 名、WEB 9 名)の参加で行われ、京都からは現地へ自然保護委員 2 名が参加しました。地元から講演 2 つと、7 府県の地方連盟より報告がありました。集会の詳細は、「登山時報」冬号(1/25 発行)に掲載されますので、概要のみ報告します。

平尾繁和



<講演 1> 「四国における山岳地域での風力発電の状況について」

黒田太士氏(建築士、えひめ風車ネット代表)

現在四国では 14 ヶ所で風力発電が稼働、23 ヶ所の計画が進行中。1999 年は 70m だった風車の大きさが 180m と巨大化してきた。移住した宇和島市で村おこしの事業を多彩に行い人口減少がとまったが、風力発電ができてから事業がなくなり人口減で集落消滅の危機感から風車ネットを立上げ問題点を発信している。集落近く的生活環境の破壊や風況のよい場所の集中する自然豊かな山奥では大規模な森林伐採を伴う自然環境の破壊で希少動物の生息が危惧される。風況塔の設置等の開発の気配を察知したらすぐ情報を共有し早期の対応を図ることが最も効果的。

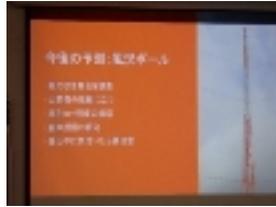
<講演 2> 「剣山系におけるニホンジカの被害と対策について」

森一生氏(徳島県西部総合県民局保健福祉環境部)

2004 年頃から剣山を含む県西部地域でもシカによる被害が目立って来た。行動調査や積雪状況調査により積雪期も剣山頂上周辺にとどまる個体の存在がわかった。対策協議会で情報を共有し様々の団体や個人と協力し取り組んできた。キレンゲショウマなどの希少植物を防護柵で保護しているが、現在も摂食圧による環境への影響は進行中。



黒田講師



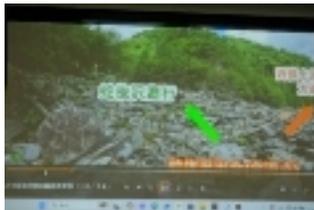
風況塔



森講師

<各地方連盟よりの報告>

- ① 埼玉県連 「自然保護委員会の活動」
- ② 静岡県連 「リニア新幹線問題、南アルプス大井川源流部沢及び高山植物調査」
- ③ 京都府連 「北陸新幹線京都延伸計画の見直しを求めて」
- ④ 神奈川県連 「丹沢に年に一度は恩返し！ 2024年度の活動報告」
- ⑤ 宮城県連 「自然保護活動の報告」
- ⑥ 滋賀県連 「伊吹山の土砂崩壊、県内の風力発電計画の現状」



リニア 南アルプス沢と高山植物調査報告ビデオ



北陸新幹線見直し報告

京都からは「北陸新幹線京都延伸問題」について、アセスの遅れで準備書がまだ出ていない現状、延伸計画の7つの問題点が何ら解決されていないこと、見直し・反対の取組が広がり世論の6割は「再検討」「不要、中止」であること、国交省・機構が京都駅位置3ルート案を出し与党PTが12月中の一つに決めようとしていること。「米原ルートを検討を」の声や京都市長から懸念が出ている状況を報告しました。京都府連盟の署名の取組への全国からの支援にお礼をのべ準備書が出るまで集めていること、11/30のこの問題での自然保護セミナーへの参加を呼びかけました。この時署名用紙を持って帰られた静岡労山の方から先日52筆の署名が届きました。

<2日目 交流登山> 「剣山登山 秋の四国第二の高峰から四国山地を見る」
 ～ニホンジカによる食害の現状と保護策について～ 現地視察

左京労山 入江しのぶ

天候:小雨/曇り 参加者:12名

行程:6:00 阿波踊り会館前 出発→8:30 登山口 見ノ越(1420m) 着→9:00 リフト利用で西島(山上駅 1750m)着→剣山山頂への登山道から、「刀掛けの松」分岐を、

「行場」方面へ下り、キレンゲショウマ保護のために設置・管理されている鹿柵の取り付け場所に向かう→現場確認後、元の登山道に戻り、剣山山頂を目指し歩く
→11:20 剣山頂上ヒュッテ(昼食)→12:10 剣山頂上 (1995m)着→下山(徒歩 or リフト)→13:30 頃 見ノ越 帰着→15:40 徳島駅 着、解散

前日、森一生氏よりニホンジカによる食害の現状と取り組みについての報告を聞いたが、翌日その現場を訪れた。徳島県の東端を朝6時に出発し、ひたすら内陸を西へ向かう。山道は何処をどう辿っているのかさっぱりわからないが、地元徳島県連の方の熟達した運転で2時間半は楽しいミニバス旅行となり、雨の中を予定通りの時間に登山口に到着した。始発のリフトに乗り、山上駅でストレッチの後、歩き出す。15分ほどで行場への分岐を下る。狭くなりややざれた道をへつるようになると、シカ避けネットが張り巡らされたエリアに着く。写真ではわかりにくいですが、足元の悪い急な斜面に2mの杭を延々何本も打ち、ネットを隙間なく張り巡らせる作業の苦労が伝わってくる光景である。晩秋の今は、キレンゲショウマの株は地上部が葉も茎も茶色く枯れている状態ではあるが、柵の中は株が群生していて、シカ柵の効果がよくわかる。かなりの距離をネットで囲ってあり沿道を見学しながら歩いた後、急傾斜を登り返し、元の登山道に引き返す。尾根道を30分ほどでヒュッテに着き、雨がきつくなってきたので中で昼食をとり一息つく。その後10分ほどで頂上に着く。見晴らし台もあるのだが、残念ながら瀬戸内海と太平洋を両方見渡せる絶景に出会うことなく雨は降り続く。記念撮影をして早々に下る。地元企業の協力により綺麗なトイレ(あわエコトイレ)が設置されていた。下りはリフト・徒歩に分かれ下山。登山口からはまた山の話などで車中楽しく2時間半、雲の切れ間からは紅葉の真っ盛りの山の景色も楽しみ、四国の奥まで個人で行けばなかなかこんなにスムーズにはたどり着けないところを、車に乗せていただき本当にありがたかった。

※キレンゲショウマ：アジサイ科キレンゲショウマ属、高さ80~120cm、紀伊半島・四国・九州山地に自生) 夏に黄色の筒状の花をつける。環境省絶滅危惧Ⅱ類 (左:夏のキレンゲショウマ、右2点:シカ柵設置現場)



2024 京都労山交流会・報告

担当会：明峯労山・洛中労山

開催日 2024年11月9日(土)～10日(日)
会場 グリーンパーク思い出の森（滋賀県高島市朽木柏 341-3）
参加 伏見：4名 右京：7名 西山：2名 乙訓：3名 らくなん：5名
右京：4名 WAO 亀岡：6名 田辺：1名 左京：4名（講演のみ1名）
明峯：10名 洛中：17名（宿泊：川嶋理事長含む59名）
参加費 8,500円(講演会のみは500円)+入湯税150円

日程

11/9 (土)	【講演と交流の夕べ】 ★14:00～15:30 講演会（連盟教育委員会主催） 講演者：川嶋高志 労山全国連盟理事長 テーマ：「山岳遭難と労山との関わり」 ～遭難事故を無くすためには～ ★17:30～19:30 懇親会:BBQ テーブルを囲んで 会場① 炭火烧ガーデン 50名 会場② バンガローサイト 9名
11/10 (日)	【3コースでの交流山行】 Aコース 思い出の森～蛇谷ヶ峰往復（洛中担当） 1班：らくなん3名・左京1名・洛中2名 2班：伏見3名・右京：3名・やましろ1名・洛中4名 3班：WAO 亀岡6名・洛中4名 Bコース 朽木スキー場～蛇谷ヶ峰往復（車移動） 右京2名・西山2名・乙訓3名・川嶋理事長 Cコース 道の駅～雲洞谷山往復（車移動） 右京1名・田辺1名・洛中2名・明峯8名

今期の交流会会場は、懇親会を行なうBBQスペースと快適な宿泊場所があり、講演を行うホールも備えている場所として、滋賀県朽木の「グリーンパーク思い出の森」を設定しました。翌日の交流山行も手ごろな山が身近にあるという願ってもない場所で、参加者からもおおむね好評でした。加えて山から下りてきてからの温泉入浴は皆さんに喜んでもらえたようです。

講演会は教育委員会の手配による川嶋全国連盟理事長直々による山岳遭難についてのお話でした。資料もカラー刷り44ページの立派なものが用意されていました。この資料集とプロジェクター併用による解説で、しっかりと参加者の頭に残ったことでしょう。資料のデータは今後各会でも参考にしてほしいと思います。

夜の懇親会では炭火焼ガーデンに全員集まり、各会が順に紹介を行った後、バンガロー付設の BBQ サイトとの 2 か所で夕食。肉・魚（イワナ）・野菜・おにぎりなどが出され、各テーブルで交流を深めました。続いて二次会がめいほうの棟で行われ（20名位）、いろいろなビールや酒がふるまわれ、賑やかなひと時でした。「宿泊棟は大変きれいで、トイレ・風呂・冷暖房完備。布団はふかふかだった」との感想もありました。

京都労山交流会会計報告

収入

宿泊参加費（8,500円×58名）	493,000円
入湯税（150円×58名）	8,700円
講演会参加（500円×1名）	500円
講演会会場費（教育委員会より入金）	2,800円
計	<u>505,000円</u>

支出

宿泊費（バンガロー7棟、夕食BBQ×59名）	430,700円
入湯税（てんくう温泉）×59名	8,850円
講演会会場費（てんくう温泉大ホール）	2,800円
懇親会飲み物（59名分）	34,680円
朝食（10日）準備（飲み物等）	4,694円
車使用料（会場下見、送迎謝礼）	15,000円
事務雑費（資料印刷、事務用品、通信費等）	8,276円
計	<u>505,000円</u>

交流山行報告

Aコース 思い出の森～蛇谷ヶ峰往復（洛中担当）

思い出の森から直に蛇谷ヶ峰へ登るコース。参加者も3コースの中で一番多く最終27名が3つの班に分かれて時間差で出発し、蛇谷ヶ峰をめざす。

林道途中から登山道に入り、小さな沢を渡るとすぐ急登が始まる。尾根筋といっても急斜面に付けられた階段やジグザグの道に息が切れる。時間はあるので細かく休憩を取りながら登っていくが、皆さんしっかりした足取りで心配はなさそう。高度を上げるにしたがって周りの樹々の葉も色づきを増して行き、秋の深まりを感じさせる。

1班、2班と続き、程なく3班も蛇谷ヶ峰山頂に到着。10時を少し回ったぐらいで少しお昼には早すぎたか…。当初、雨予報もあり天候が心配されたが何のなんの、澄み切った秋空が拡がり、周囲の展望は申し分ない。足下に広がる琵琶湖を始め、ぐるりを囲

む周辺の山々の連なりが余すところなく眼前に迫ってくる。

しばしの展望を楽しんだ後、下山にかかる。この時間になると登ってくる登山者とのすれ違いも多い。12時過ぎに思い出の森に戻り無事を確認して解散。

その後は皆さん温泉で汗を流し、のんびりとお昼を過ごされたことと思います。ケガもなく全員元気に下山できたことは何よりです。

B コース 朽木スキー場～蛇谷ヶ峰往復（洛中担当）



参加者：洛中：3名（CL 陳・SL 市田・坂本）
右京：2名（吉野・中大路）
西山：2名（中村・馬場）
乙訓：3名（西村・松方・久貝）
全国連盟・川嶋理事長

〈コースタイム〉

8:20 朽木スキー場駐車場→8:30 蛇谷ヶ峰登山口→9:42 スキー場分岐→9:53 866m 分岐→10:01 蛇谷ヶ峰山頂 10:30→10:36 866m分岐→10:45 スキー場分岐→11:45 蛇谷ヶ峰登山口→11:50 駐車場

朝食、後片付けし、A, B, C それぞれのコースに分かれて交流山行へ出発します。B コースは、車に分乗し朽木スキー場駐車場へ。約4km程走り標高430mまで登ってきた所が登山口です。ゲレンデ横の急斜面をゆっくりとあがります。途中は、

十九折になっており斜度が優しくなっており整備された登山道です。11名のパーティ



ィで、一緒に歩くのが初めての方もおられ、ゆったりとしたペースで心地の良い道を登りました。800mぐらいで傾斜が緩み、琵琶湖の湖面が開け、心地よい風が当たり出しました。最後の急登を上りきり360度の眺望の山頂到着。既にAコース1,2班が到着していました。少々早い昼食をとり、ピストンで下山となりました。ざれた急登を慎重におり、ゆっくり下山しましたが、途中、お一人が転倒、足のこ

むら返りを起こされ、水分補給、服薬、ザックをSLが持つなど応急処置を行い、無事に下山できました。傷なく、あとは、ご自分で車の運転も可能でした。無事下山、山行を終わりました。

Cコース 道の駅～雲洞谷山往復（明峯担当）

<コースタイム>

8:15	8:51	8:56	9:00	9:35	10:04	11:02
駐車場	明護坂	東山	行者山	雲洞谷山	(往復)	
13:10		2:27	12:18	11:24		

明峯登山は、2回の下見を行った雲洞谷山のコースを、会員8名、右京登山1名、田辺山友会1名、洛中登山2名の計12名で往復した。

市場地区は「マルハチ百貨店」という昔ながらの建物が保存され、喫茶店として営業されていたり、きれいな水が流れる小川があったりで、素敵な雰囲気の中で、その中を進んでいった。小川には小さな魚やサワガニがいて、しばし皆で眺めていた。

登山口には柵があり、開けて林道を進むと小さな鳥居と祠がある。そこから「高島トレイル明護坂」と書かれた小さな案内板を横に坂道が上がっていくと、15分ほどで「明護坂」に着く。お地蔵さんが祀られていた。また、林道が通っていた。

雲洞谷山までのルートはなだらかな尾根が続き、ハイキングにはもってこいだ。時折、木々の間から蛇谷ヶ峰が見えた。東山、行者山を越えて行く。所々で林道と出会い、木を伐り出すための林道なのかなと思う。雲洞谷山頂上は広いが、木を伐採した後の整理がきちんとしてなく、それぞれ座れる株や横たわった木を見つけ、昼食を摂る。道標には、熊がかじったのではないかと思われる跡が生々しくあり、皆驚く。帰りは足取りも軽く進み、駐車場に戻った。休憩場所や頂上で話が弾み、よい交流になったのではと思う。



2024年度講演会報告

開催日：2024年11月9日（土） PM14:00～16:00

会場：朽木／グリーンパーク思い出の森・多目的ホール

演者：労山全国連盟理事長・川嶋高志

演題：「山岳遭難と労山（遭難事故を無くすためには）」

【報告】

2024年度講演会は洛中労山・明峯労山幹事会の「連盟交流会」とコラボ企画として開催しました。

講演会には左京3名、伏見4名、右京7名、西山 HC2名、乙訓3名、田辺1名、らくなん5名、WAO 亀岡6名、明峯11名、洛中17名、合計10労山59名の参加をいただきました。

参加各会・クラブ

会・クラブ名	参加人員	会・クラブ名	参加人員
左京労山	3名	田辺山友会	1名
伏見山の会	4名	らくなん山の会	5名
右京労山	7名	WAO 亀岡	6名
西山 HC	2名	明峯労山	11名
乙訓山の会	3名	洛中労山	17名
合計	10会・クラブ 59名		

講演は「山岳遭難の統計」に始まり「山岳遭難の原因、予防策、その対処法」等について具体的に解説をいただき参加者一同理解を深めることが出来ました。

川嶋理事長が長年関わってこられた「事故死亡者ゼロ」は未だ達成していないことに歯がゆさとその難しさが理事長のお話から伝わってきました。特に個人山行届は「会員の義務」では無く「会員の権利」と主張されたことに強く印象に残りました。

教育委員会

山下建男

京都労山 積雪期 搬出 訓練 の案内

実施日：2025年1月26日（日）

対象者：雪山ハイキングや雪山縦走に参加されている方、参加しようと思っている方

受付：イン谷口トイレ前広場 9時00分 開始；9時30分 解散：15時00分

場所：正面谷周辺

内容：ビーコン、プローブ 訓練、負傷者の梱包、堂満第1ルンゼからの搬送

持ち物：積雪期の日帰り個人装備 ビーコン、シャベル、プローブ、ヘルメット、ハーネス等必要な登攀用具（原則、アイゼンは使いません）

ビーコンやプローブ、シャベル、ハーネス、登攀装備を持っていなくても参加可能です。（ビーコン、プローブ訓練の時は見学だけでも勉強になります）他、

締め切り：2025年1月6日（月）

各会にて参加者の集約をし、申込書を1月6日までに、遭難対策部****までメールにて送付下さい(****@*****)

その他：当日の参加者の緊急連絡先（留守宅）は各会で把握して下さい。

近畿ブロック搬出講習会の予定

1. 日程：2025年4月5日（土）・・・ハイキング/コンパニオンレスキュー
6日（日）・・・岩/尾根
2. 場所：岩・尾根班・・・兵庫県の百丈岩周辺
ハイキング班・・・未定
初級コンパニオンレスキュー班・・・大文字山安祥寺林道入り口付近

救助隊・遭難対策部合同遭難搜索訓練

担当 遭難対策部 西村

11月16日 19:00 事務所 臨時常任理事会開催・遭難対策本部立ち上げ

参加者 6名 坪山・大江・山下・青山・西村・梅若 敬称略



経緯

16日 16:10 乙訓久貝から乙訓留守宅
西村へ遭難事故一報 (TEL)

伏見武本と久貝が大文字山交流山
行中 (未踏ルート探索) に、

谷筋に滑落、武本が右足を骨折した。
自力で尾根まで上がれず、ビバーク。

16:15 伏見留守宅氏野へ西村から事
故連絡。

16:20 乙訓三役 近藤、別当へ事故
連絡。

16:20 坪山理事長へ西村から事故一
報連絡。

16:28 坪山より事故第一報を常任理事へグループライン報告。

16:40 京都連盟に対し、乙訓から救助要請をした。

16:45 京都府連盟三役協議。伏見からも救助要請。

16:53 坪山正式に遭難対策本部立ち上げ、19:00 より臨時常任理事会招集。

遭難状況

後山階陵分岐から経塚山 P(400)を踏んだ後、北へ向け尾根を下降後に北へ向け
登り返したが傾斜厳しく、西へ向けたが足を滑らせて谷筋へ落ちた。武本右足骨
折。久貝が電波の届く尾根へ上がり連絡。サムスク、ツェルト有。大文字山南へ
500mの地点。標高 370m。久貝服装グリーンのジャンパー。ココヘリ有。

搜索方針

17日 8:30 JR 山科駅南広場集合。遭難地点の二股まで全員で行動その後 2 班
で搜索。A 班氏野(L)、青山、原田 B 班梅若 (L)、村上、西脇、金山、現地本部

坪山、西村とする。通信機周波数 20。

共同装備：ロープ 2 本、搬送ネット、ココヘリ親機 5 台、サムスク、ストック、ヘルメット 2 (遭難者用)、テルモス (遭難者用)、通信機 3 台。

個人装備：ストック、ヘルメット、ハーネス、ガチャ類、テルモス、日帰り装備

会議終了後、救助隊ブースにて共同装備の準備をし、ロープ等を持ち帰った。

11 月 17 日 8:30JR 山科駅南改札ロセブンイレブン前 9 人集合した。

8:40 分班分け、無線チェック OK、ココヘリ親機使い方説明後、現場へ出立した。

9:35 小休止し、ハーネス装着し、ココヘリ準備する。

10:00 遭難現場と思われる二股地点で、ココヘリが鳴り出す。雪崩での救助方法
全員で大きな声を揃え呼びかけ、暫く静寂を保つ。 何と、一発で返事があり発見、全員が現場へ到着。ここまでは、順調すぎた。怪我の具合を確認の上、テルモスからお湯を遭難者に飲ませる。

10:30 尾根筋(15m)へ引き上げ開始。ロープ 3 5 m、3 分の 1 システム。ロープで引っ張り、一人が背負い 4 人で後をサポート。地盤が悪く、必死のパッチ状態。

10:45 引き上げ完了。

11:05 鹿ネットによる登山道まで搬送準備。

11:15 搬送開始。概そ 200m。登りで藪漕ぎ障害物あり難路。6 人で搬送、障害物で送りも使い、場所を交代、休憩しながら進む。

11:50 登山道へ引き上げ完了。

12:20 ココヘリの使い方の実習

12:55 下山開始

13:20 下山後、安祥寺広場でミーティング。

14:15JR 山科駅で反省会。11 名全員参加。

主な反省点と感想

- ① 全員で声揃えてコールし、暫く静寂を保つ。発見するのに有効な方法。
- ② 引き上げ時に、上下で意思疎通がし



難い。通信機を使う。

③ 参加者が少ない。救助隊員を倍増する。各会から2名参加要請。

④ 緊急会議、19:00 早い、遠方から参加できない。リモート併用も検討。

西脇一山で初めて背負った。ふとももが立たないくらいしんどい。引っ張る力が伝わらず、スタティックロープを使うべきである、青山一引き上げ3分1ダメ。次回は5分の1とプーリーで。武本一ルス宅から帰ってこないでスタートする方式も検討。

参加者が少なかったが、いつもリモートの遭難対策部員が顔を会わせて、力を併せて遭難者の救出が出来たことが大きい。部として一体感が生まれた。



冬山連絡会・リスクマネジメント講習 報告

遭難対策部 川端 純子
(丹後山の会)

日時 2024年12月6日(金)

1部 冬山連絡会(Web) 19:00~20:00

2部 リスクマネジメント講習 (Web) 20:00~21:00

参加者 12名

冬山連絡会

冬山の山行計画が3名から8件提出されました(会山行4件、個人山行4件)。経験豊富な方からアドバイスをもらったり、ルートや装備などについて意見交換でき、有意義な連絡会になりました。

リスクマネジメント講習

雪山登山に必要なスキル(体力、歩行技術、生活技術、読図、気象、雪崩リスクマネジメント)と、雪山の主な危険である滑落、凍傷、低体温症、体力消耗、行動不能、雪崩、雪庇について原因と対策をみていきました。

雪崩は、一般に大規模になる「面発生」、雪崩れるスピードの速い「乾雪」、予兆なく発生する「表層」雪崩に特に注意が必要です。傾斜角35度~45度の斜面で発生する確率が高い(一番多いのが38度)ので、国土地理院のHPで傾斜角を確認したり、日本雪崩ネットワークが日々更新されている雪崩情報や、山の気象情報、地形図を確認し、過去の雪崩発生状況も雪崩の本などから収集して、冬山に入ってほしいと思います。

[昨シーズン見かけたインシデント]

1月に南アルプス仙丈ヶ岳地蔵尾根に行った時に出会った3パーティーが、装備と気象情報の収集不足から、遭難してもおかしくないような行動をされていました。私たちのパーティーは天気荒れる前に樹林の中にテントを張り、翌朝、快晴の山頂に立ち、大満足の山行でしたが、山頂直下の避難小屋泊の予定でテントを持参していない人たちは、日没後のブリザードの中、どこにあるかも見えない避難小屋をめざして歩かれていたそうです。同じ日程で同じルートを歩いていても、準備不足から命を落としかねない状況に陥っているのを目の当たりにし、準備の大切さを痛感しました。

みなさん、今シーズンも準備をしっかりし、安全に雪山を楽しみましょう。

ヒヤリハット まとめ

教育遭難対策委員会

2024年10月2日 70歳 男 雲の平

事象 熊スプレー噴射

雲の平山荘

受付後ザックを担いだ時にスプレーを誤噴霧した。すぐに窓を開けて小屋スタッフが水を用意し目の痛みが有るがあらえた。

教訓 ロックが外れていた事に気が付かなかった、大きなミスでした。
クマ研究者の本を読み、クマの生態について、出来る限り学んだ。
クマ研究者の方たちのように、クマの生息圏によく入る方には必要と思うが、クマ報道の過熱に流されて、安易にスプレーに頼る前に私達が考えることがあるのでは。

2024年9月29日 75歳 女 (2~5年) 若狭駒ヶ岳

事象 転落 擦り傷

下山時の緩やかな下りでバランスを崩して踏み外し、斜面を4.5m転がり落ちた。

袖をまくり上げていた為、軽い擦り傷。

教訓 山側を歩く。新しい会員さんには、例会山行を進めるなど山歩きの回数を増やし技術を高めてもらう。

2024年10月3日 68歳 女 雲の平周辺

事象 スリップ転倒 軽い打撲

岩苔乗越から黒部源流の沢沿いを歩行中、登山道の沢側の草を踏み、滑って踏み外した。沢側に2~3m落ち、腰を打撲。草が生い茂っていたので他にけがはなく、後の行動に支障はなかった。

教訓 登山3日目で、疲れもあり、集中力が、散漫になっていた。

2024年9月14日 不明 ポンポン山 大沢峠越え立石橋まで

事象 急な下り坂でスリップして尻餅をついた。スリップして骨折したか、骨折したからスリップしたかは不明。

教訓 急な下りは、足を外向きに、歩幅を細かく歩く。1歩1歩慎重に歩く。
ストックを前につく。

2024年9月15日 65歳 女 美山 白尾山

事象 登山開始から15分 雨が降り出したので白尾山展望台までにしよう
と出発したが、登山道は丈の高い草が生えており、滑りやすい状態で
下山時は絶対に滑ると判断し中止しての帰り道で、道を踏み外し上体か
ら草むらに倒れた。

教訓 なし

2024年9月23日 75歳 女 藤原岳 大貝戸ルート

事象 大貝戸登山道で下山中、八合目の看板が見えたところで、幅広の階段の
中の木の根につまずいて転倒。額を階段の丸太で、左肩を地面で打撲。
額に擦り傷を負う。

教訓 8合目の看板に気を惹かれ足元を見ていなかった。下山は休憩までの間
隔を短く、歩き出しはペースもゆっくりするようにしたい。
痛めた額と肩をしばらく冷やし、荷物を分担し自力下山。歩行に異常な
し。

2024年10月11日 59歳 女 以東岳～大朝日連峰縦走

事象 大鳥登山口から大鳥池に向かう山腹の狭い壁道で3番手がバランスを
崩し、1m程落下した。自力で立ち上がり登山道に復帰した。
ケガもなく、以降は最後まで歩きとおした。

教訓 重装備での縦走時には事前に歩荷トレーニングをする必要があるが、
出来なかった。また、重い荷物を背負って注意を要する箇所を歩く際
に、声をかけることが必要であった。

2024年 71歳 事故報告 女 高竜ヶ岳

事象 登りの時に、木の根につまずいて転んで尻もちをついた際に右手を地面に着き骨折した。

教訓 前を歩き人が木の根など躓きそうな物があれば声を掛け合うことが大切である。

2024年 71歳 男 比良山系

事象 比良滝山～牛山～北小松への登山道で立木の枝に額をぶつけて額に1cmの浅い傷ができる。そこから出血して顔に血液が流れた。水で洗い流しモイストヒーリングパットを張る。

教訓 滑りやすい坂道を休憩なしで長時間歩き疲れがあった。帽子のツバで前が見えにくく目の前の枝に気づかず。前をしっかり見る必要がある。

2024年10月15日 75歳 男 那須岳 峰の茶屋

事象 駐車場を出発し1時間で峰ノ茶屋跡（避難小屋）に6名全員が到着する。少し高い場所で遠望をしていたが、ほんの1～2分後にFさんがいないことに気が付く。100m先の別のパーティーに付いて行っていた。

登山初心者の行動への対応として、

- ①常に行動を確認する。
- ②一人で行動しないことを伝える。

クライミング委員会山行 報告

クライミング 《雪野山ボルダー》

日:11月16(土) 曇り

メンバー:内野(洛中)、岩根(左京)、小泉(田辺)、青山大(やましな)

目的地に向かう車中での一コマ。誰か〇男がいるのでは無いかと話題になり、そういえば天気の悪い日が多いなあと実感(笑)。

そんな訳で当初は白嵩の予定が、いつでも撤収可能な横山公園に変更。初めてボルダーを経験したが、写真では簡単そうに見える岩が落下の恐怖と初心者レベルのガバがほとんど無く、最初は全く歯が立たなかった。しかし回数をこなせるので、身体の使い方も何となく理解できるようになったと思う。良い経験になった。



クライミング 《姫路 シークリフ》

日:11月23(土) 晴れ/小雨

メンバー:内野(洛中)、梅若(乙訓)、青山大(やましな)

メンバー3人共に初の岩場。参加できなかった委員にアプローチの情報を教えてもらって無事に到着(感謝です)。

まずは、易しそうなNPルートから(謎にトポには記載なし)。クライマーが続々と集まって来たので場所移動。見栄えのするルートと、スッキリとしたスラブルートをそれぞれに。続いて、明瞭なクラックルート(これも謎にトポには記載なし)。

初めての岩場は分からないことも多く、あたふたしたり、ルート の 偵 察 と 迷 走 タ イ ム で 時 間 を 使 い 今 回 は 終 了 …。



京都府連盟登山道倒木整備 一大文字山を整備しよう

これまで登山道を使った感謝の念と恩返し、多くの登山者の安全のために

安祥寺上寺跡左俣北ルートとD尾根の登山道を整備します。倒木整備は楽しいです。今年こそ、是非、一度、参加してみてください。

これまでと同様に参加者の力量に応じて、力のある人はノコギリで倒木伐採、大木運搬、力のない人は小枝切り、小枝整理、声援と分担して行いますので誰でも参加できますのでご安心下さい。ケガをした場合は労山基金も対象になります。

登山道整備は毎回京都大阪森林管理事務所の承認を得て実施しています。

みんなで頑張っていて楽しく安全第一で整備しましょう。参加をお待ちしています。

★実施日：1月18日（土曜日）

これまで登山道整備は偶数月は土曜日、奇数月は日曜日に実施していましたが今年からは毎土曜日に実施します。

雨天予想の場合は前日の19時までに判断して中止のみ連絡します。

★申し込み締め切り：実施日前の月曜日

★集合場所：JR山科駅改札口付近 9時00分（9時には出発します）

★参加申込先：連盟登山道整備担当 青山郁夫

080-3797-4392 携帯メール 2382m.ikuo1025@ezweb.ne.jp

留守宅（緊急連絡先）も教えてください。

★参加条件：労山基金を含め山岳保険加入者

★持ち物：カップ、ヘッドランプ、レスキューシート、タオル、安いゴム手袋（なければ軍手）、お茶、お弁当、救急薬品 ヘルメット（必携）、ノコギリ（なければお貸しします）、長靴（任意）、スパッツ、虫除けスプレー等

★共同装備：ロープ、ビニール紐、カラビナ、サムスプリント

★その他

- ・作業の前には危険予知を相互に行い安全作業に努める。
- ・木が1/3切れたら声を掛けること。1/3でも突然、木が切れ落ちることがあるので注意！
- ・木を切る前には切れた木がどちらに落ちるか、跳ねるか常に予想して退避方法を考えておくこと。
- ・切った木を運ぶ時も木がどう動くか予測しておく。
- ・コロナがまた流行しています。本人や同居家族で微熱、咳、喉の痛み等がある場合は参加を取りやめて直ぐに発熱外来に行ってください。



今年からいよいよ安祥寺上寺跡右俣に取り掛かります。

京都府連盟～安祥寺林道段野谷線 登山道倒木整備報告～

連盟登山道整備担当：青山郁夫

2024年11月24日（曇り、一時ちょっとだけ小雨）

やましな：青山郁夫 久子 右京：西村澄子 荒木賢子 市岡晴美

山科 8:43--9:20 安祥寺林道段野谷線入口周辺を整備 15:08--15:47 山科駅

今回は安祥寺林道段野谷線入口周辺の整備を1時間ほどで終わらせて、安祥寺上寺跡左俣の残りとお上寺跡北ルートを中心に整備しようと思っていた。しかし、一ヵ所綺麗にすると次の所が目につき綺麗にしようとなりこの繰り返しで安祥寺林道段野谷線入口周辺の整備だけで一日が終わってしまった。

でも、みんなの力で林道入り口周辺の斜面や平地が見違えるほど綺麗になって達成感に浸って作業を終えた。

まだまだ、登山道整備は続きます。是非、一度参加してみてください。

西村さん

昔は山でいっぱい手伝うことがありました。集めて帰ったとき木を風呂の炊き出しに使ったりしました。

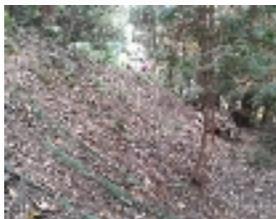
市岡さん

小さい頃、両親と山に行って小さなたき木を作ってもらって背負って帰ってきたことを木切れをきれいに並べた後を見て思い出しました。

荒木さん

毘沙門天堂付近の紅葉も綺麗でした。作業場所も入ってすぐのところ、山歩きもせず作業に取り掛かる。雨のため、お昼前に作業を取りやめ、近所の方に、声をかけていただき作業場に入れていただく。

火を焚いていただき暖かく昼ご飯を頂きました。作業したところも綺麗になり、心も温かくなった一日でした。



久子さん

斜面も平地も綺麗になった いつも通り綺麗に据置き

別サークル活動のため、

午後から活動に参加。毘沙門堂はすっかり観光名所になりましたが、そこから林道に行くまでの紅葉はそこを通る人だけのラッキー穴場スポットです。

林道斜面は驚くほどきれいになっていて、午前中の活動の努力が窺われます。

お疲れ様でした。

再度の能登半島地震復興支援ボランティア募集のご案内

会員の皆さまにはつつがなく新年を迎えられたことと存じます。

1月1日は、新しい年の始まりであると同時に能登半島地震が発生した日です。昨年の震災から1年が経過しましたが、未だ復興から遠くかけ離れています。

同じ年の9月21日には能登半島上空に線状降水帯が発生し、多くの個所で河川の氾濫や土砂災害が発生し町中が泥と流木に襲われました、能登の街も人も二重の災害の中で日々苦悩の生活をしておられます。

京都府連盟では能登に復興支援に行こうと2月に石川県のボランティア団体登録をしました。現在、連盟ボランティア登録者は17名です。

去年は京都府連として2月から12月上旬にかけて24回、延べ59名が志賀町、能登町、七尾市、輪島市、珠洲市と各地にボランティア活動に行きました。ある時は震災で被災されたお宅の家具や家電の搬出、ある時は土砂災害に遭われた家屋の床下の泥の掻き出し…

年内で拠点となるボランティアセンター何カ所か閉鎖されると聞いています。新年からは活動内容も多様化して来ると思いますが、まだまだ、多くの被災者の方は私たちの支援を待ち望んでおられます。

1回でも2回でも現地に行って被災者の方のお役に立ちたいなどお思いの方はぜひ連盟のボランティアに応募して下さい。

みんなで一緒に能登半島地震復興支援ボランティアに行きましょう。

ボランティアを希望される方は右のコードを読み取って必要事項を記入し送信して下さい。応募された方には連盟担当者から必要な情報をお知らせします。

ボランティア応募は随時受け付けています。



ボランティア応募コード



軽トラを運転して被災品を仮置き場に運びます。



輪島市町野。川が氾濫して甚大な被害を受けました。



輪島市門前。土嚢袋を仮置き場に持って行きます。

問合せ先：連盟担当者 青山郁夫 080-3797-4392

携帯 2382miku01025@ezweb.ne.jp パソコン aa-ikuo1025@maia.eonet.ne.jp

第 22 回, 23 回 能登半島地震復興支援ボランティア報告

連盟ボランティア担当 青山郁夫

11月7日8日は地震と豪雨で甚大な被害を受けた輪島市の町野の復興支援に行ってきた。町野は凄いことになっている。11月27日28日は穴水町で活動。初めて復興の兆しが見られた。

支援は人海戦術が必要。困っている人の手助けをして少しでも楽な生活を送れる様にしてあげたい。新しい多くの方が京都府連盟のボランティア登録をしてみんなで能登に行けることを切に望んでならない。

第 22 回 活動日：2024年11月7日、8日 走行距離 764km

やましな：青山郁夫 久子 右京：石田久夫

11/7. 8 日本航空ベースキャンプ 場発のボラバスで輪島市町野に行き活動

11/7 参加者：全体で30人 私たちの班は7人 久々にリーダーをした

活動内容：山の下の家東側の側溝と家の西側の道路の排水溝の泥上げ、土嚢袋に入れ家の庭に仮置き 170袋 他にボラセンの排水溝の泥上げ 70袋

11/8 参加者：全体で26名 私たちの班は10名 久子さんリーダーをした。

活動内容：床上1m浸水の家2間の床下の泥の掻き出し 玄関先に溜まった泥の除去 仮置き場4回往復 軽トラ土嚢 120袋+軽ダンプ1台

青山郁夫

初めて町野に行った。地震と濁流、山崩れの被害、それは凄かった。住んでおられた方は無事だったか、ケガをされなかったか、今はどう過ごされているのだろうか。

私たち素人に出来るのは床下や排水溝、庭の泥出しだけ。でも、ボランティアに来た人たちは、少しでも被災者の方の支援になればと毎回毎回頑張ってお心に泥だらけになって作業をしている。

石田さん、2日間ともしっかり頑張っておられました。お疲れ様でした。

青山久子

前回、輪島市内でボランティア活動をした際に、同じグループの方から町野のことを聞き、今回募集人数も多かったこともあって町野に行くことができました。

いやーっ！町野のひどさは半端ではありません。地震と水害で壊滅的打撃です。しかしここで生活している人がいます。畑をして、店を構え、暮らしている人がいます。ボランティアの助けを待っている方々がおられます。

そしてここにボランティアに来られた方々もそれぞれに町野に、また能登に思い入れがあり、少しでも力になりたいと思って黙々と泥の掻き出しをしました。

皆さん、能登の復興を願っています。この輪が少しずつ広がることを念じてやみません。つながろう！能登への思いはひとつ！

能登半島復興支援ボランティア活動

京都右京勤労者山岳会 石田久夫

2024年11月6日から8日まで連盟青山さん夫婦の運転で、私の3人で活動してきました。

前泊にて、京都 JR 山科駅 12 時に輪島日本航空学園ボランティアベースキャンプに向け出発、夕方には着きました、作業の内容は、7日、8日とも豪雨災害の泥、撤去作業でした。

今までに地震災害で能登には、志賀町、七尾市、珠洲市、3回活動しましたが、今回現場に行き、これほど酷い現場を見た事ない、町野ボランティアセンター付近の街が全滅状態で人影がない、助かった建物がない、全員が避難所に移動しておられるみたいでした。

今まで3回行きましたが、各ボランティアの注意点を聞いてきましたが、いつも倒壊した建物の写真撮影はNGでしたが、今回は、地震、豪雨、土砂、の災害の大きさを、表札、住所がわからない状態で写真を撮って頂き、被害の大きさを、知って頂いて、支援の和を広げて頂きたいと、お願いされましたので写真を見て下さい。



町野の多くの家がこの様に倒壊したままだった。復興はまだまだ先である。



川の氾濫で
流木や土砂
に覆われた
家々



床上 1m 浸水の家で床下の泥の掻き出しをした。

第23回 活動日：2024年11月28日、29日 走行距離 814km

やましな：青山郁夫 久子 右京：西村澄子

11/28、29 当初予定の町野が中止になったので穴水町に現地集合で行き活動

11/28 参加者：全体で一般17人、レンジャー（一般補助のボランティア）6人

午前活動内容：私たち3人で倉庫2階の片付けと壁板補修

午後活動内容：7人で電化製品と家具を引っ越し先に運搬と仮置き場運搬

11/29 参加者：全体で一般10人 レンジャー（一般補助のボランティア）6人

午前活動内容：8人で瓦、家具、電化製品、什器運び出し、仮置き場搬送

午後活動内容：10人で傾いた納屋の不用品（農機具シート等一杯）運び出し

仮置き場への搬送時間がなかったのでボラセンに持ち帰り

青山郁夫

5か月半振りに穴水町に行った。町の中心部の倒壊した家々は取り壊され更地になっていた。1日目の作業も倉庫の片付けや引越しのお手伝いでやっと復興の兆しが見えて来たなと思った。しかし、2日目の午前のおうちは1階の居間や廊下は雨漏りがしていてバケツなどが置かれ家の中もひっくり返っていた。家の公費解体の認可は得られなかったと残念がっておられた。

12月上旬で穴水町の仮置き場が廃止されると聞いている。きっと、地震の跡片付けが終わっていない家も多いだろう。この先、どうやって暮らして行かれるのだろうか？少しでも暖かい新年を迎えて欲しいと思う。

西村澄子

3回目の能登のボランティアに青山夫妻と行って来ました。ひょうが降ったり雨が降ったりと、寒かったです。活動1日目の夕方に震度4の地震がありました。震度5になると作業は中止されるので良かったです。

今回参加して、まだまだ、復興の手が足りないと感じました。

青山久子

穴水町は豪雨災害がなかったとのことですが、未だそれぞれのご家庭のニーズは多様で、ボランティア活動も和やかに話しながら片付けのお手伝いをさせていただいたり皆で黙々と納屋の育苗箱を運んだり様々です。

今回は京都を出る時から帰る時までハプニングやアクシデント続出でした。それでも能登に向かえたのは、やはり待っている方がおられるという気持ちが強かったのだと思います。能登の冬は冷たいです。被災された方々が少しでも暖かい場所で過ごされることを願っています。



雨漏りがしていたおうちの瓦を2tトラックに積んで運んだ

全国海外山行交流集会報告

11/9-10の両日、第1回全国海外山行交流集会が開かれたので、リモートで参加した。

9日(土)は13:00から司会者の開会宣言に始まり、主催者あいさつ、武笠委員長の第1回全国海外山行交流集会開催に当たってと続き、その後5本の登山報告が行われた。

夜の懇親会もリモートで参加できるのかと思っていたが、それはなかった。リモートでも一緒に飲みながら歓談できるのに。

10日(日)は、近藤和義氏の特別講演「ヒマラヤ登山 これまでとこれから～超高峰登山の変遷考察」とスライド「NO LIMIT ある雪豹登山家の足跡」が行われた。エベレストなどいくつかの8,000m峰では、高額費用を払えば個人装備だけで現地参加可能となる、フィックスロープやはしごの設置などルート整備「槍ヶ岳化」、BC、全HC(ハイキャンプ)でのテント・酸素の準備、食事・登高援助などすべてを賄ってくれる「はとバス化」が進んでいるとのこと。ここまで登山の商業化が進んでいるのかと考えさせられる。

その後、埼玉県連のインドヒマラヤ・ガンゴトリ山群トレッキングとガンゴトリ山群カリンディ峰とベビーシブリン登山報告が行われた。

最後に武笠委員長の集会のまとめと司会の閉会の言葉で終了した。

登山報告の詳細は、資料がありますので、興味のある方は申し出ていただければお送りします。

報告 安達

日本勤労者山岳連盟 女性会員のみなさま

「女性と登山」「全国女性委員会」に関するアンケートのお願い

日頃より登山活動にご協力賜り、誠にありがとうございます。

この度、登山の女性会員を対象に、「女性と登山」「全国女性委員会」に関するアンケートを実施します。今後の活動の参考とするため、ぜひご協力をお願いいたします。

■概要

目的：女性と登山をめぐる現状と、全国女性委員会の継続について、意見を募る。

対象：登山の女性会員。 期間：2024年11月25日～2025年1月25日。

回答・回収方法：全国連盟事務局にて集約。メール、FAX、オンライン、郵送で受付。

■アンケート実施の経緯

全国女性委員会は1977年に設立されました。女性担当者会議や女性交流集会を開催するほか、研究者と協力して女性登山者の体力測定を行い、加齢による筋力低下に備えようと冊子『山筋ゴージャ体操』を作成・普及するなど活動してきました（これまでの歩みは下記の資料をご覧ください）。しかし、2020年に全国女性交流集会を開催した後、委員会活動が休止したまま現在に至っています。2021年評議会決議では「女性委員会の再編成については、引き続き検討していく」ことになりましたが、「責任者にふさわしい全国理事を見いだせなかった」ことなど、全国女性委員会の再編成には困難がありました。（2022年総会決議より）

今年、日本はジェンダーギャップ指数において世界118位、G7の中では最下位となっています。登山の分野では、みなさんどのお感じでしょうか。女性会員の声に耳を傾けてみると、女性が集う機会を望む声がある一方、女性委員会の意義を見出せないという声も聞かれます。そこで、全国連盟での今後の取組の参考とするため、登山をめぐり日々感じていること、会・クラブの活動での様子、女性委員会の存続について、女性会員のみなさんにアンケートをお願いすることとなりました。

■女性委員会のこれまでの活動資料 HPに掲載しています。QRコードからご覧いただけます

1. パンフレット「ようこそ女性委員会へ」
2. 「女性が『当たり前に登山できる』ように 女性委員会スタート」（登山60年史より）
3. 2021年「女性と登山」活動総括（2022年総会決議決定集より）
4. 2021年実施 全国女性委員会再編成のためのアンケート結果

1.



2.



3.



4.



日本勤労者山岳連盟事務局

〒157-0061 東京都新宿区新小川町5-2、メール：jwaf@jwaf.jp、FAX:03-3235-4324

8(土)09:48 自宅発~22:00 敦賀港=フェリー=

9(日) 焼石岳登頂 登り 3h05/下り 2h41/計 5h48

05:50 秋田港~秋田道~8 時頃平泉~志羅山旅館確認~中尊寺(家族を降ろす)~

09:30 焼石岳つぶ沼コース登山口。途中にあった中沼登山口入口は閉鎖(工事中)。つぶ沼キャンプ場を過ぎてやっと登山口を発見。



09:40 先ず岳山を目指して登る。沢山の踏み跡。登山道には石が敷かれ良く歩かれている様だ。岳山の標は無く随所に銀銘水⇄つぶ沼の標。渡渉点は銀銘水 4.1km⇄つぶ沼 1.9km。

10:40 石沼(つぶ沼)。先の地震で登山道がひび割れ右側に崩れ落ちている。巻き道が次々と作られている。2人すれ違う。



11:20 中沼コース分岐。山うどの茂る道。この辺りからダケブキやギボウシの中木道が続く。

11:37 やつと銀銘水。流れを柄杓で汲みゴクリ。おにぎりを食べる。近くに避難小屋がある筈だがガスで見えず。



11:45~木道の脇にはアヤメが咲いている。

12:29 姥石平分岐。ガスの中に残雪をまとった焼石岳が見える。この辺りも花が多くキンコウカの群落もあった。右へ東焼石岳~六尺山~尿前登山口へと続くコースがあり、姥石平には花が多いらしいがこの霧雨では仕方ない。今回はピークハントで行く。先に行く2人に倣い分岐にデポして山頂へピストン。すぐ右手に泉水沼。ハクサンイチゲ等の大群落。



12:45 焼石岳。山頂手前で雨が降り出し大急ぎで登る。先の2人に写真を撮って貰う。晴れていれば鳥海山や栗駒山・早池峰山等が眺望出来るらしい。その眺めを味わいたかったが…。



12:47~長居は無用と下山開始。帰りは合羽を着て滑りを気にし乍ら慎重に下る。途中雨が止み合羽を脱ぐ。これで少し歩き易くなった。

14:00 つぶ沼分岐。ドロドロの道を足を取られない様に気を付け乍ら下る。

15:28 下山。大急ぎで着替える。疲れているので栗駒山を諦め宿に戻り家族と合流する。



これでまた1つ東北の二百名山登頂。一座ずつ楽しみながら登って行こう。

1月号案内
表紙の写真

小川 繁さん(乙訓山の会)

二百名山完登に寄せて

2011年に大朝日岳で百名山完登した時、山頂から見た朝日連峰の稜線の連なりの先に有る以東岳で二百名山完登にしようと決めていた。

朝日屋旅館に前泊し、大鳥登山口～大鳥小屋～オツボ峰コースを登る。ブナ



林を過ぎた辺りから稜線上に以東小屋が見え、三角峰～戸立山へ続く紅葉に彩られた斜面が広がる。(2024・10・11)

3時48分以東岳山頂。夢が叶って感無量。しかし風が強くなりガスも出て来たので、大急ぎで二百名山達成記念の写真を撮り以東小屋に向かう。

小屋では宿で一緒だった田辺山遊会の人達と合流し、管理人の伊藤さんから「以東岳を二百山目に選んでくれて嬉しい」と差し入れのワインを居合わせた皆で乾杯して祝って貰えて感激した。

翌朝は山頂でご来光を見るべく5時28分以東岳に登り田辺山友会の人たちと一緒に記念写真を撮る。

5時51分澄み切った秋空に棚引く雲の上に日が昇る。周りの山々も静かに息を潜めて雲海を抱いて見守っている様だ。

改めて完登の喜びをしみじみと味わう。

(小川 繁)



<お知らせ>

「提案 情報 投稿」原稿を募集しています。連載企画の内容でもOKです。労山会員の方やお知り合いで連載を引き受けてくださる方をご紹介ください。

【投稿先】 京都府勤労者山岳連盟 機関誌委員会 高野 寛

メールアドレス hirossan-1954@nifty.com

*原稿サイズ B5版 1行約36字 1頁約36行

*字体 MS明朝体 11P 余白上、左、右各20mm 下23mm

2025年 京都府連盟 月間予定表

1 月 (霜月・NOV)		
1	水	元日
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	自然保護委員会
7	火	事務局長会議
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	初級実技5 雪山 八ヶ岳
12	日	初級実技5 雪山 八ヶ岳
13	月	成人の日 初級実技5 雪山 八ヶ岳
14	火	常任理事会
15	水	
16	木	
17	金	やまびこ利用日
18	土	近プロ雪崩講習会 岐阜・大日岳
19	日	近プロ雪崩講習会 岐阜・大日岳
20	月	京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会
21	火	
22	水	女性委員会
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	積雪期搬出訓練 初級実技7
27	月	常任理事会
28	火	気象勉強会
29	水	
30	木	
31	金	

2 月 (如月・FEB)		
1	土	
2	日	
3	月	自然保護委員会
4	火	事務局長会議
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	常任理事会
11	火	建国記念の日
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	初級机上4 天気図
17	月	京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	やまびこ利用日
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	常任理事会 気象勉強会
26	水	女性委員会
27	木	
28	金	